

## 創立50周年を迎えて

### 第20代会長 森 重男



私は創立10年目に入会し、熱海クラブが50周年を迎える中、ワイズの仲間と共に40年間を歩み学べたことに心から感謝する次第であります。

入会の翌年1975年に国内で初めての国際大会がニューフジヤホテルで開かれ国内外から2000余名のメンバーを迎え国際色豊かな盛大な大会でありました。

先輩メンバーの方々とは連日連夜準備の会合に奔走しており初心者である私は只夢中で参加していた思い出があります。今思えば当時の国勢と同じでY'sの高度成長期でありました。竹内敏郎ysを中心にワイキチが猛烈な活動で支え、富士山部を生み沼津、伊東、湯河原、三島、小田原、とつぎつぎとEXTし部内350名の会員を擁す日本区でも有数の部でありクラブとなってゆきました。顧みれば、創立時49名、10周年58名、20周年80名、30周年63名、40周年45名、50周年44名の会員でその年度ごとの会長、書記が頑張り事業の伝統を継承し青少年育成の事業を中心に活動を心がけて今日を迎えられた訳であります。

20周年を記念にかねてより念願であった熱海にもう一つのクラブをと計画し1984年7月新年度初日にグローリークラブのチャーターナイトを実施、私が20代会長に就任し、新体制の発足となりました。

10周年から20周年のころはカナダカルガリークラブと交換学生事業を行い、その年度8月に18名のカナダの学生を迎えホームステイなど初めての体験をしました。

また、翌年には20余名を派遣し学生を成田へ見送りに行ったりさまざまな体験も出来ました。その他台湾、韓国のブラザークラブとの交流等ワイズで無ければ出来ない貴重な体験もできました。

40周年記念事業として第7回の東日本区大会を04年6月に熱海クラブがホストしニューフジヤホテルで開催しました。東日本区大会として最高の650名の登録を得て盛大な大会でありました。

熱海駅から咲見町通りにY'sマークの小旗を掲示し銀座通りには横断幕を掲げY'sのPRと街中で歓迎を示しました。参加要請のPRに7つの部会や他クラブを訪問し熱海クラブの水色の制服をまとい、実行委員の人と各地を訪れたことも忘れられない思い出となりました。

同行して熱心にPRをしてくれたメンバー達がここ近年に病に倒れこの3年の間に数名のメンバーと悲しい別れを余儀なくされました。

非常に残念なことでありましたが只ただご冥福を祈るばかりです。

熱海クラブはこの50周年を45名の会員で迎え各地の多くの方々に祝福されて記念すべき祝賀の日を迎えます。これもひとえにチャーターメンバーや先輩諸兄の活躍のお陰と感謝しこれからの10年、20年を若いメンバーに託し、更に不屈のクラブとして栄えて行きますよう心から願うものであります。

楽しいクラブライフで更に大きな和をつくりましょう。

### 青少年事業委員 室伏 勲



熱海ワイズ創立50周年を迎えるにあたり、心よりお慶び申し上げます。早いもので在籍41年目を無事に過ごす事が出来ました。年月の過ぎるのは早いものです。熱海クラブの古狸(化石として)となりました。

熱海クラブのチャーターメンバーは現在、グローリー在籍の3名(竹内、太田、藤間3氏)が、いまも健在で活動されています。(太田氏は療養中)この3氏は共に熱海ワイズの初代会長、二代、四代の会長です。10年20年30年40年それぞれの記念誌、YMCA25周年誌を拝読中、ふと思った事は皆、髪の毛は黒々ふさふささ若かったです。人の事は言えませんが入会時の自分の写真も全然別人、痩せ形で髪の毛はふさふさ、あの頃に戻りたいな。当時はまだ富士山部ではなく、南東部(親クラブは横浜)。1978年(昭和47年)に富士山部が設立され、16年後に東西に分かれた日本区が出来ました。クラブも若返り、これからはもっとも変化と活力あるクラブになることを願い、またそれを確信しております。不況の街を明るく活気ある街にする為にも、もっと青少年の活力を引出してにぎやかな街作りを目指すように、もう一鞭打って活動出来る熱海クラブとなるよう、一同いっそう励んでいくよう皆で努力します。

### 第22代会長 山田 修司



熱海クラブが1963年12月15日に横浜クラブのスポンサーで日本で36番目のクラブとして誕生して早50年。半世紀である。私がワイズに入会してから早37年に成ります。(途中7年のブランクがあるが)今、原稿を前に改めてこの37年間を振り返って入会時の事を思いつつ、まだ国際大会の興奮が冷め遣らぬ中、石井信吉会長の時に入会をさせて戴き当時は会員82名と新入会員が私の他4名、そして伊東クラブのキーメンバー12名と約100名近いメンバーが在籍、活気溢れるクラブでした。

湯河原クラブのチャーター始め伊東クラブと矢継ぎ早に近隣クラブのスポンサーをし名実と共に熱海ワイズの価値観を高めて来ました。国際大会をホストした関係で外国のクラブに人気になり、IBC締結の話も多くあったと記憶をしております。私の会長時代(第22代)は若林健一郎書記を始め各委員長と優秀なメンバー諸兄に恵まれ活発に活動をした事を思い出している。主な活動では、台湾台中クラブとの交換学生事業で、熱海クラブと台中クラブの各メンバー宅に互いにコメントをホームステイをさせた事が有り、台中クラブとは更に姉妹クラブの絆を深めた事がいまだに頭にこびり付いております。今期IBC・BF委員長を務めさせて戴いている関係で、50周年記念例会を迎えるに当り特にIBC・DBC関係クラブに対しては、札幌慶一会長及び池田直文実行委員長の補佐をし、熱海クラブの底力を発揮して自分に託された部所を全うする所存です。今後も60周年還暦を目標に身体の続く限りクラブに貢献出来る様頑張っていきたいと思う。

